

25/3/17 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）

名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： 今から経済水道委員会を再開をいたします。次に観光文化交流局関係であります。本日は昨日の委員会でご報告をいたしました通り、冒頭より市長にご出席を願い本丸外の無料化実証実験および名古屋城天守閣木造復元事業について市長に対する質疑とともに総括質疑を行ってまいりたいと存じますのでよろしくお願いをいたします。

なお、市長に対する質疑の後、市長にはご退席をいただき引き続き、その他の部分についての総括質疑を行ってまいりたいと存じますので、よろしくお願いをいたします。それでは追加資料が提出をされておりますので、まずは当局の説明を求めます。

総務課長： それでは、観光文化交流関係でご要求のありました資料につきましてご説明申し上げます。

お手元の経済水道委員会説明資料の1ページをお開き願います。

本丸外の無料化実証実験についてでございます。

(1)に趣旨、(2)に実施時期、(3)に実施エリアをそれぞれかけさせていただきますとともに、(4)から(5)にかけて、現在想定しております具体的な実施を方法および効果測定の方法を。2ページに参りまして(6)に実施により想定される効果と影響をそれぞれ掲げさせていただきました。ご覧賜りたいと存じます。

以上本当に簡単ではございますが、ご要求のありました資料についての説明を終えさせていただきます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： それでは説明が終わりましたので、本丸外の無料化実証実験および名古屋城天守閣木造復元事業について市長に対する質疑および追加資料に対する質疑を含め総括質疑をお許しをいたします。

沢田ひとみ（自民・港区）： 広沢市長、本日はお忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。

私は以前からちょっと気になっていたことがあるのでお聞きしたいと思います。

確認なんですけれども、広沢市長も前河村市長と同様に、「本物の復元」という言葉を使われますよね。この言葉を聞いて最初は徳川家康が建てた名古屋城をそのままの姿で復元するんだろうというふうに思っていました。しかしここ最近の議論を聞いておりますとちょっと違うのかなというふうに感じます。基礎構造は鉄筋コンクリートで、史実になかった階段があったりもします。市民の皆さんが「本物の復元」というふうに聞くと、私のように家康が建てた天守閣を木造で復元するというふうに誤解してしまう方も多いのではないのかなというふうに思います。

そこで広沢市長にお聞きしたいんですけれども、本物とはどういう意味で使われているのかちょっと教えてください。

広沢市長： ただいまですねこの本物、特にこの名古屋城始めとするこの城郭における本物とは何かという、そういうお尋ねをいただきました。私としましてはですね本物というのは、やはりその価値が本質的価値ですね。これを感じられるかどうかこれが本物かどうかこれを分けることではないかというふうに考えております。

今の委員ご指摘の通りですね、史実になかった階段というのがございます。確かにそれはございますけれども、これはですね、姫路城でも追加でつけております通り、やはりその中をご覧いただくにあたってはですね、必要最低限のこの消防設備であるとか、あとは避難路であるとかもこの辺は追加をしないとですね、さすがに来場者を中に入れるというのはできない。

じゃあそれをつけたら、その本質的価値が損なわれるかという観点で言いますと私はですね、それらがあっても往時の姿を感じることができる、そういう施設になっていると、特に姫路城もそうですけどと思いますので確かに新しい天守も現天守もですねこのケーンというものに載っております。そういう意味では、往時の姿として構造が100%再現されるものではございませんけれどもこの中に入ったときですね、なるほど昔のお城はこうなっていたんだというその本質的価値を感じていただけることこそが本物ではないかというふうに感じております。以上です。

沢田ひとみ（自民・港区）： 本質的価値ですとか、往時の姿を感じられるということもおっしゃられましたし、100%再現されるものではないというご答弁もありました。今のお答えだとやっぱり結局は本物ではない本物そのものじゃないというふうに思ってしまうんですけれども、今あるその天守閣も本物を真似て作ったものですから、ちょっと今のその話だと、現在の天守閣も本物というふうになってしまうのかなというふうにも感じます。今後、市民の皆さんが誤解しないように本物復元という言葉を使うのはやめた方がいいのかな、どうなのかなというふうにも思うんですけれども、広沢市長はどのようにお考えでしょうか。

広沢市長： はい再度のお尋ねをいただきました。

城郭におきましてはですね再現性といいますか本物性におきまして現存に始まりですね、現存復元、そして復元的整備、そして復興模擬天守こういうふうにもいろいろとございまして、まず現存の天守が本物であるここはですね、誰もが疑う余地がないところでございます。そしてその次ですねこの復元というものを、これをどう捉えるかでございます。

今の現天守はですね、これはコンクリートで作っておりますけれども、外観においては精密に復元をしておりますのであれは外観復元、これは達成をしているところでございます。内観につきましてはですね、コンクリート造であることとか、内部構造がかなり変わっておりますので中は復元と言えないとそういう状況でございます。このいわゆる本物というのはで

すね割と定義がいろいろございまして、なので今の現天守も、外観は復元、なお外観は本物と言えらると思ひます。ただし内はそうではないと。

これを我々は、その本質的価値をですね高めるために中も往時の姿を取り戻そうというふうにかんがえておりますので、それが達成できた際にはこの本丸御殿と合わせてその往時の姿のとき強調したいのは、現存天守に比べまして、その当時の創建当時の姿を見ていただけるという点です。むしろこの本質的価値というのを感じていただきやすい、そういうという側面もあろうかと思ひますので、ここはですなぜひともそれが本物やであるというふうに皆様にですな、市民の皆様をはじめ来場者の皆様に感じていただけるような、そういう覚悟でやっていますというところございましてご理解いただければと思ひます。

沢田ひとみ（自民・港区）： 私からは以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長さん今日はお忙しいところお越しいただきましてありがとうございました。

対立から対話というところございまして、今市長さん縷々言われたんですけど、外観で言えば家康が造ったのは土瓦、今は違ひます。本質的価値それはそれでいいんですけど、沢田委員が言ったのは、市民の皆さんは家康が作ったあの城を建てるんっていう想像をするんですよ。だけど現実には昭和実測図で立てるんですよ。

家康が建ててから遍歴があるんですよ。瓦一つとってもそうやって変わってきてる。本当にそれを木造復元と、ある意味、印象操作みたいなもんだ。そこが丁寧なのか丁寧じゃないかって言ったら、丁寧じゃないんじゃないかなと思ひますけども、その辺も踏まえて、今後は丁寧にいつの時代に、かつて建造物部会だったかいつの時代に設定するんだっていうお話があったと思ひます。やっぱりそこは肝であって家康が造ったものを建てるんだったら土瓦だし銅瓦なのかその辺も踏まえて、私からはとりあえず終わらせていただきます。

小出昭司（自民・中村区）： 市長お疲れ様でございます。

広沢市長、誠実な方なので非常に誠実にお答えいただいていると思ひますが、この今の本物という言葉でこの本物という言葉の定義は同じだというふうには思ひますけど、市長がその過去に報道等であってらっしゃるその中で、どうしてもその市民に誤解を招いてしまうその本物の使い方が本物の復元をしてまいりたいというような言葉遣いをされてらっしゃるんですよ。

本物の復元、これ復元に本物も偽物もないと思ひますよ。

ですから、本物の使い方を要は河村市長は非常にその言葉のマジックとかですな、そういう減税のことにおいても、名古屋城のことにおいても非常に言葉をマジックのように使われて、時にはそれがいい方向に行く場合もあるんですけど、市民に大きな誤解を招いてしまうということもあると思ひますよ。

名古屋城におけるこの本物の復元という言い回しが、いかにも浅井先生が専門家でいらっしゃるので、専門的にですな伝えられたと思ひますけど非常に誤解を招いてしまうと。本物

という言葉が使われるのであれば、例えば出来たときにですね、本物に勝るとも劣らない木造復元をしましたということであればですね、それは1人1人の思い方ですので、それは何も問題はないと思うんですけど、やっぱり本物の復元というと非常に市民の皆さん誤解を招いてしまう。

例えば、ここに人間国宝の花瓶があったとしてその花瓶がガチャンと割れてしまって、その後復元する専門家の人が全く瓜二つのものを作ったときにこれは本物かといったらですね、それはもう本物は人間国宝のものは割れちゃってるわけですからここにある花瓶は本物そっくりの花瓶でしかないわけであって、決して本物ではないわけですね。

ですから河村市政におけるその言葉のマジックではなく誠実に伝えていただければ僕は市民の皆様、きっとわかっていただけるんじゃないかなと。そんなところで問題が、そんなところから大きく広がってったのではないかなというふうに思いますので、ぜひその辺り、本物というような言葉においては誤解を招くような使い方をしていただきたくないなというふうに思いますのでよろしくお願いをいたします。

続いて、そんな中において今回無料化実施実証実験をされるわけなんですけど、やっぱり何と言ってもですね、2026年のアジア大会に世界中の人たちが我々のこの名古屋にいらっしやって、名古屋の観光地といえばやっぱり第一に思い浮かぶのが、行ってみたいなというふうに思うのは名古屋城であると思うんですけど、そのとき通常時と同じような形でですねお客様をお迎えになられるわけでは当然ないんじゃないかなと。

やっぱりそのときに一定のインパクトを感じとっていただくような、何ていうんですか、おもてなしというかそういったようなことをしていかなければいけないんじゃないかなというふうに思うんですね。

そんな中において、例えばその天守閣、今入れない状態になっているという問題であったり、今のこの実証実験はそのあたりにアジア大会に繋がっていくのかわかりませんが、何か市長なりにですね、そういった今の天守閣入れない問題も含めて、何かアジア大会に向けてやられようとしていることがあれば、お聞かせをいただきたいと思うんですが。

広沢市長： アジア大会に向けてということでご質問をいただきました。私としましてはですね、確かにこの千載一遇のこの名古屋が盛り上がっていくチャンスでございますので、当然この名古屋城におきましてですね、何らかのこの従来にない形のおもてなしをできればというふうに考えておりました、これは当局としっかりと検討していきたいというふうに考えております。

よろしく申し上げます。

小出昭司（自民・中村区）： わかりました。大いに期待するところですが、来年度ですね、しっかり準備をしないとですね当然間に合わないということになりますので、そのあたり、できるだけ早く準備段取りしていただいて公表して進めていただけるとありがたいなというふうに思います。世界中といってもですねもう過去に例のないそれこそ中東の王様も

いらっしゃるかもわかりませんが、非常に名古屋としては千載一遇のチャンスですので、そのチャンスを逃がさないように頑張っていたきたいと思います。以上です。

田中里佳(民主・天白区)： お城に関しては浅井プロフェッショナルがいらっしゃるので、あまりベラベラ喋ろうという気はないんですけど、先ほど沢田委員からの説明でとてもわかりやすかった、そういうことねみたいな感じで多分皆さんもそうだと思うんです。私達もやっぱり本当に木造復元で別に全然賛成しているわけだし、反対しているわけではないし、でも何かと議論があると、やっぱり前市長は何かというとやっぱりオリジナルっていう言葉をよく使われてると思うんですよなんかオリジナルなんか下手な発音で言われてたんだけど、それを言われるといやいや違うでしょうとか何とか言って、結局議論が進まなかったりいろんなところに問題が起きてるのが今現状なのかなというふうに思ってるんです。先ほどの広沢市長の話でいくとその本質的価値のある木造復元という意味なので、それでいくと河村市長の言ったオリジナルとはやっぱり違うのかな。

それを継承されるのは全然私は一つの政策としていいんですけど、河村市長が言っていたオリジナルとは違う意味なのかなというふうに私は捉えたんですけど、その辺はちょっとどうなんでしょうか。

広沢市長： 今、オリジナルというお言葉いただきましたけれども、私文化庁の審議官さんがこちら名古屋城いらっしゃったときにいろいろちょっとお話を伺いまして、そこで非常に印象的だったのが、「歴史というものは全て起きたことは全て価値があることだ」と。ことこの名古屋城におきましては、この1945年に燃えてしまったこと、そしてそれまでに333年間あそこにあったことを、そして幾度と改修をされたこと、そしてこのその戦後ですねそれが市民の機運が盛り上がりまして建て替わったこと、そしてその当時はまだ朝鮮戦争ですとか、ベトナム戦争が始まったり、まだ戦争が非常に身近かだったこともあってですね、やはりもう燃えないお城でということこのコンクリートへ建て替わったこと、これら全てが歴史であり保存されるべき対象だということを、しかもですねちょっと若干天守と外れますけど、その天守外に体育館があって、例えばあれですと、ともするとですね後ろの中にあんな体育館があってと思われるかもしれないけれども、多くの市民がああ石垣を歩いてですね大相撲を見に行ったというこういう記憶もまた保存されるべきものだという中々深い良いことを言われまして、そういうことで言いますと、何がオリジナルかっていうとこれはもう今まで起きてきた歴史全てがオリジナルではないのかなというふうに私は考えておりました、そんな中でですねはこの木造復元、どこに意義があるかということやはりこれは、今回私も何度か名古屋城を訪れさせていただいた中で、やはり皆さんが一番感銘を受けるのは今ですと本丸御殿に行ってますね、中のこれは復元されたものですけど、襖絵であるとか、いろんな装飾を見てですねなるほど昔はこうなっていたんだというふうに思うこと、しかもこれが400年前にこんな技術があったんだというそれを感じていただくことがそこにオリジナリティを感じていただけることが大事かなというふうに思っております、そういう観点からしますと天守も中に入ったときに昔よくこんな重機もない時代によくこんな大型

の木造建築物を建てたもんだなというふうに感じていただけることがこれがオリジナリティをです、その実感していただくことではないかというふうに感じております。以上です。

田中里佳（民主・天白区）： 多分ダイレクトな答えはなかったと思うんですけど、そういった説明を聞くと私は単純なんでははって聞いていると、今ここで広沢さんがその話の延長で壺買ってくださって言ったら壺買ってしまいそうぐらいな感じの、何かはって洗脳されちゃってるところがあるんですが、ここまできていろんな課題もあるし、けど結局何が言いたいかっていうと、いろんな課題をとにかく少しずつ早く解決して、1日も早く前へ進むということだけが私の望みです。それは多分、そのとき当時賛成した市民の人も議会もみんなそれを望んでいるわけなので、いろんな課題を克服して進んでいただけるような市長であってほしいなという要望で終わります。

浅井正仁（自民・中川区）： 先だつての本会議で、僕が最後に江戸と令和を結ぶ名古屋の誇りの象徴だっていうね、要は、穴太衆の積んだ石垣、そしてそこに令和の総技術が集まって建てる。なかなか夢があっているのかなと思う。それを聞いたときにまず名古屋城の所長さんどう思ったのか。あなたたちは何だったっけ、歴史と文化の象徴だったっけ、どう僕の考えが否定されるのか、どうなのかわかんないけどちょっとお願いします。

名古屋城所長： ただいま浅井委員の方から本会議における江戸と令和を結ぶ名古屋の象徴という言葉についての考えを求められました。委員の本会議の質問におきまして、木造復元天守はどのような象徴になるのかという問いに対しまして、江戸期から存在する石垣の上に往時の姿で天守を復元することでその価値がより高まり、本丸御殿と合わせて多くの方に歴史的文化を楽しんでいただくことによって世界に誇る名古屋の歴史と文化の象徴になるものとして市長が考えを述べられております。

私ももそのように理解しておりますが、また一方で委員の方から同じく本会議の質問において、先ほどおっしゃられたように特別史跡を構成する石垣の上に当時の姿に現代の技術を駆使して復元することに価値があり、江戸の時代と現代の最新の建築技術を融合させ、400年のときを超えて天守を蘇らせさせるということこそが本質的価値を高めるという意味のご指摘をいただいております。

さらには最後の締めくくりの言葉として、天守閣木造復元は江戸と令和を結ぶ名古屋の誇りで象徴であるというお言葉に、私としては、この事業の本質というものを端的に表しているというふうに受け止めさせていただきました。

名古屋城の天守は江戸の時代から名古屋の誇りであり、江戸と令和を結ぶということにつきましては、例えるならば駅伝のように、名古屋の誇りという襷を江戸の天守から昭和の天守閣そして令和の木造天守へと受け継ぎ、末永く後世に継承していくものというふうに考えております。

したがいまして、木造で復元された天守が未永く名古屋の誇りとして存在し続け、市民に愛着を持ってもらえることになるよう丁寧に事業を進めてまいりたいというふうに考えている次第でございます。よろしく願いいたします。

浅井正仁（自民・中川区）： 当委員会で褒められるってあんまりないもんでちょっとちょっと、みたいだね、今所長さんが言われたんだけど、市長も私と同じ考えでしょうか。

広沢市長： 私もですね全く同じ考えでございます。やはり名古屋城、今回これ建て替えるにはやはりいろんな意義があると思います。言うまでもなく尾張名古屋は城で持つというふうに長く言われてきたこの名古屋城、これがですね今回この木造で建て替わる、本当にその誇りを名古屋市民だけでなく当地域の多くの方のその誇りを引き継いで、新たな城になっていくという意味がある。

そしてもう一つですね、名古屋城が建ったのは大坂夏の陣の直前ではございましたけれども、天下泰平の世になってできたというそういう平和の象徴という意味もあったかなと。それ以来創建以来ですね名古屋城を舞台とした戦乱は起きなかったということも含めまして、そういう意味合いもあるかなと思っておりまして、それに比べますと今のこの戦後 80 年たってですね。

おそらく 45 年にお城が燃えてから、55 年に準備委員会が立ち上がるわけですけどこの 10 年間ってというのは、まさに朝鮮戦争があり、そして 55 年にはもうベトナム戦争まで始まるということで、また世界中に目を転じてみれば、キューバ危機があったり、キューバの独立戦争があったり世界中まだ紛争だらけ、冷戦の真っ只中というああいう中ではやはりおそらく名古屋市民としてもまた戦火にまみれて燃えてしまう、もうそういう姿を見たくないというそういう気持ちもあったかと思えます。

それがこの 80 年経ってもうこの世界にですねとは言いながらもこれ実際には紛争は続いておりますけれども、この日本が再びこの大戦争になってお城が燃えてしまうことがもうないというそういう決意の表れとしても感じていただけるんじゃないかなというふうに思っております、そういう意味も含めて名古屋市民のこの誇り、そしてその江戸から令和への誇りの伝達というそういう意味では大変に重いと思っております。以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： 言うことないんだよね、何かしら。

家康が作ったのも本物の城、昭和が作ったのも、今の現天守も本物の城、広沢市長が作るのも 80 年後には本物の城っていうことを市長は多分言われたと思うんですね。それに向けて頑張っていたきたいんですけども、今回資料要求をいただいた無料化実験でさっき土曜日の土砂降りの中、ちょっと名古屋城へ見に行ってきました。

何が見たかったかっていうと写真を撮るポイントなんですよ。ちょっと愕然としました、何か。このエリアでいくと本丸御殿は何にも見えない、有料にしなきゃ何にも見えない。果たしてそれがいいんだろうか。

せめて建物ぐらいは見せなきゃ駄目だと思うんだけど。このパンフレット、本丸御殿、Webもこの60分間コースには本丸御殿このエリアを有料にするということは、本丸御殿の素晴らしさを見ることもできない。

中に入る入らないは別として、本丸御殿と小天守、大天守ここで写真撮る方たくさん見えます。それが撮れない。

時間がなくて本丸御殿の中には入れなくても写真ぐらいは撮らしてあげるのが当たり前じゃないかなと思うんだけど、だからこのエリアを、西の門か。どっから入るんだっけ。本丸表二の門で多分そこで止めるんじゃないかなと思うんだけど、そこも開けてあげてその中もこれ無料にするのがそして建物だけを有料にする。そうしないとせっかく外国から来ても何なんだという話になると思うんだけど、市長さん僕の考えはどうでしょうか。

広沢市長： 実はですね、私も今回この発想するとき、どこでいわゆる有料無料を区切るのかというのは若干悩みましてですね、この管理の観点から言いますと、この表二の門で管理をしてその中だけ有料とこれが一番しやすい、おそらくこられる方にとってはですね大阪城のように基本的には全部開けて建物つまり今で言いますと本丸御殿に入るときだけを有料とするこういうこの考えもあろうかと思えます。今回これ実証実験でございましてですね、つまりところはこれをやって収入がどれぐらい下がるのかという、ちょっとここが肝になるのかなというふうに考えております。

ここで若干悩んだのはですね、あんまり見せる部分を多くすればするほど、もうそこで満足をして無料で満足されて、有料に繋がらないかなという、だからそこで有料化率が相当落ちてしまうと、この実験自体もですね通年開放ということに繋がっていかない可能性が高くなりますので、いわゆるちらっと見せるところをどこまでにするかというですね、ここが悩ましいところとございまして、確かに名古屋城でいいますと一番皆さんが写真を撮られますのは本丸御殿の横を抜けて天守の前ですね、あそこが一番天守が綺麗に見えますので、売店等のあるあそこまで行って写真を撮る。

なので、そこにもしそこで写真撮りたいなと思う方からお金をいただくという観点で言いますと、今回のですね、ほぼ表二の門でつまり本丸エリア全体を有料化するという方が正しいということになりますし、それはサービスからいったらそこはもう無料で、本丸御殿だけ有料というこれもやろうと思えばですね、御殿の入口だけでそのチケットを見ればいいことですので難易度が高い話ではないんですが、どこまでお見せするのがですね収益的に妥当なのかなという、ここがちょっと悩ましいということで、今回はとりあえず表二の門で本丸エリアを有料というふうにしたところとございまして。

ただ委員ご指摘の点もですね、非常によく私も検討したところとございまして、ちょっともう一度考えてみたいと思えます。

以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： 先ほど市長収入が減るって言ったのは、それはお城の人に聞くんだけど、収入が減るって言ったのは、何を根拠に収入が減ると言われたのかな。

管理活用課長： 失礼いたします。

本丸外無料化実証実験に伴う収益の結果についての市長のご発言だったかと思えます。

今回のですね本丸が無料化実証実験におきまして、結果として増収するのか、それとも変わらないのか、減少するのか、そういったところは実際に実証実験を行ってみたいとわからないところかなというふうに思っております。

ただ我々の事務方として市長にご説明させていただく際に、どうしても無料エリアはたくさんの方が来られるんですけれども有料エリアを限定することによって減収するリスクがあるということも再三にわたってご説明をしてきましたので、そこを市長が感じ取られてですね、減収する可能性があるということでご発言されたものかというふうに思っております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 何の根拠もないんだよね。

例えば旅行者とかに聞いたのかな。

管理活用課長三谷担当課長： 今回の無料化実証実験の予算計上をさせていただくにあたりまして、旅行会社へのヒアリングといったところにつきましては申し訳ございません、していないところでございます。

浅井正仁（自民・中川区）： 旅行会社にも聞かずにね、僕は市長、そんなに減らないと思うよ。

なぜなら今庭園がある、隅櫓がある、茶室がある。そこで終わっておこうかっていう人もようけおると思う。

だけど有料エリアになれば、だいたいの旅行者ってそこが目的だから来るんですよ。

そうですね、うちらが例えば外国行くね、旅行者が、いや大したもんじゃないですよって言ったけど、ここまで来たら行くね、例えばパリのベルサイユ宮殿、電車乗って遠くまで行く、2時間待ちでも行く。有料エリアってプレミアムなんだよある意味、お金出し出さなきゃ入れないところ、だから僕は減らないと思う大して。

どっちみち実証実験だったら市長、開けよまいか。今名古屋はなんて言われてるかっていうとね、バスガイドさんが僕に言ったんだけど、ツアーで名古屋城へ来たと500円払ったと、子どもはただだったと。子どもの部分はいい街だと、大阪の人ですわ。

大阪の子もただだったと、500円で入ったと。そしたら天守閣に登れなかったと、詐欺みたいな話だと、何かっていうと、僕そのガイドに本丸御殿があるじゃん。ガイドさんも同じこと言ったらしい。

いやいやいや、お城は天守閣だと、あれの一番上に登ってナンボだと。今回のこの実証実験もここで止めて、このパンフレットには堂々と本丸御殿が書いてある。壁画も立派にネットでは出てくる中において、で、もし時間がかかりになくたって写真ぐらいは撮らしてあげよ

うよ。それも赤字なら赤字でいいじゃん、実証実験なんだから、大阪城って市長さん、先ほど言われたんだけど、僕も大阪みたいがいいと思うね。

大阪行くと、夕方になったらみんなが夕涼みしてね、また立地がちよっと違うもんで、ちょっと高いもんで、名古屋は平地に建ててあるもんで、そこでみんながね、なんかくつろいでね、そういうのが僕も憧れた、名古屋は500円払わなあかん。

大阪みたいに大道芸人がおったり、いろんな取り組みしとる。でも名古屋はそれができない。庭園入るのも500円がいる。

今回せっかく実証実験をしていただけるならオープンにしましょうよ、市長どうですか。

広沢市長： 貴重なご意見ありがとうございます。私は今回これを考えましたのはですね、いわゆるビジネスモデルというこのフリーミアム、無料でたくさん来ていただければそれだけ一定数が有料に来ていただけるなので今ですと名古屋城は平城でございますので、名古屋城駅に降り立ってもですね、そもそも城がよく見えない。

ここではですね、この中ではなかなかどうしようかなっていうところをちょっと思うかもしれないですけど、中まで入って結構間近まで行ってこれみたいなのというところで有料になるという方もいるんじゃないのかなというこれが一つとですね。なんといっても市民が気楽に入ってもいろいろなことができる。今先生おっしゃったようないろいろな活動ができるということが想定されます。特に名古屋は敬老パスがございますので、ある程度遠隔地からもですね、ただなら行ってみるかと言って、多くの方が来ていただけるのではないかとということも、しかもそれが無料だったら本当に敬老パスとこの無料化実験を組み合わせればですね本当にお金をかけることなく、1日楽しんでお帰りをいただけるというそういう効果もあるのではないかなというふうに考えておまして、その中でフリーミアムモデルですのである程度ちらっと見せるところまでは行かなければいけないというのは我々私は本丸というね、本丸が一番表二の門で裏も閉じて表二の門だけで管理をすれば、管理としてはしやすいというのは確かでございますので、それをやってはどうかというふうに考えたところでございますけど、確かに貴重なご指摘ですのでちょっと一度検討させていただきたいと思います。

そして実態からいうとですね今、入場者数に対して本丸御殿に入っている率がどれぐらいかといいますと、私実はもう9割がた入ってるかと思ったらそこまで入ってなくて、半分ちょっとしか入ってないということを知りまして、ここだけ見るとですね、もし今までのデータからして、その4割強の方が本丸に入っていないということを考えると、本丸以外が全部見れると4割減収になるてしまうのかというですねちょっとそういうおそれもあるはあるというところがございます。あとちょっと思うのが、菊の花の菊花大会とかですね、あとは茶屋に行くためここに500円払っていただいた。そのためだけに払っていただいた方はおそらく払われなくなるだろうなってなんかそれも減収になります。ただここに関してはこれも減収というよりもですねそれまで、この菊の花を見るためだけに500円払っていただいたことが本当に良かったのかという観点もでございますので、そういうあたりを含めてですね総合的にアンケート等を取りながら、何が最善なのかというのを探っていくところがございます。

ますけれども、今いただきましたですねいわゆる本丸内の開発につきまして一度ちょっと当局としっかりと相談をさせていただきたいと思えます。以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長さん、収入減るってばかり言っただけで、その代わり、ただになったらようけの人が来ると思うよそれが機運醸成でしょ。収入収入ってさ、だってこれ1年ずっと開きたいんでしょ。

この秋にやって、一番気候の良い時にそんなときに実験したってしょうがないと思うよそんなこと言うならば、だったら閑散期と両方やんなきゃ駄目。多分市長さんは実証実験だって言って逃げると思うんだけど、それからもう一つ言うならば、この実験で9時5時って何かなと思う。大阪24時間でしょ。散歩したり、マラソンしたり、正門から入ったり東門から入って、表二の門の前をずっとマラソンもできるし。この9時から5時じゃなくて、さすがに夜は僕も文化財だから、いろんな問題があるからさすがに開けろとは言わない。せめて朝6時ぐらいから開けていただきたい。

そうするとあの辺に住んで見えとる方がさらに愛着が湧くと思う、名古屋城に対してでね、もっと言うならば大阪城ではラジオ体操やっただよ。あそこの舗装してあるとこ、通路んところ、あそこでね一緒にラジオ体操かなんかやったらどうね。

市長一緒にやろうラジオ体操、ちょっと起きれんかも知れんけど、それぐらいの仕掛けをね、やった方がいいと思う。

どっちみち実験やるなら、朝6時、どう市長、ラジオ体操付きで、

広沢市長： また大変に貴重なご提言をいただきました。

確かに夜間はですねおっしゃる通りに、いろいろと管理の車が入ったり、あと警備上の問題があったりということでございますのでちょっとすぐには難しいかなと思えますが、朝の時間帯であればですね、これは門を開けてというのはやっていけるかなというふうに思います。ただ時間に関しては、一応これ今予定が11月ぐらいと考えておまして、夜明け前から開けるかどうかとちょっとその辺の時間はですねまた考えたいと思えますが、確かに9時開門に関してはですね、早く前倒ししてまいりたいというふうに考えております。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長さん一緒にラジオ体操やろうね。

そういう仕掛けって非常に大事であって、名古屋城が何故そんなにも名古屋市民の方が行かないかっていうと、有料だから行かないんだよ。多分この議員の中でもお金出して数回だと思ふよ行った人は、大阪城市長もさっき言われたんだけど、大阪城って公園からみんなあるからすごい遠いんだよね歩くの、駅から歩いてそれも階段をがぁーと上っていかなあかんし。

だけどみんなそこへ遊びに行くんだよ。

そういう愛されるお城にしなきゃ僕は駄目だと思いますんで、一つね、愛される名古屋城、令和の名古屋城ね、よろしくお願ひしたいと思えますんで、続いてよろしいですか。

これ本会議でもあの芳名板を下ろしていただけると言われたんだけど、市長さんは昔あった正門の西側と、モックアップのどこ、僕はそれもそれなんだけど、あれだけ珍しいものが、銅板の珍しいもので、ああいったものを違う場所で展示するのも一つだと思ってます。例えば公館にあれを掲げたら公館に来た人は何これっていう話になる。例えばセントレアでやったら、何。

横に大谷翔平選手のあの木を持っていく。それは名古屋駅も同じだ。そこで幟を持った職員が名古屋城木造復元アンケートをお願いします。それが機運醸成だと思うんだよね。市内だけで、別にターゲットすることもない。

いろんな人に、外国の人に聞いて、木造復元ってこんなことかみたいな、そりゃいいよね。そういう仕掛けをなぜ今までやってこなかったのか、そのタイミングはいつだったのか、あの現天守を閉めたときなんですよ。

あの現天守を閉めたときに、そういった機運醸成並びにできるならびにあの現天守と同じようなものをスクリーンで見せる。

この現天守の価値とはこういうものだ記録はこういうものだ。そういうのが全くもってね、やってなかった。

これは閉めたときだ。

さっき市長さん、愛知県体育館の話がされた。要はそういうことなんだよ、一般市民の人が東門から入ってきて、どういうルートで名古屋城に入っていくそして何を見て天守閣に登って、そして最後、最上階でお土産を買って帰っていく。

この動線が記録保存なんだよ、こういったものが全くもってやってない。どっちかっていうと石垣とバリアフリーだから、機運は高まらない。今ちょっと動けないんだけどね。

その検証結果が出て総括やって障害者の方の理解が出たらね、今ちょうどそれは皆さんが考えるべき、今までのことを整理する時間だと僕は思います。そこをしっかりと整理していただきたいと思うんだけど、市長さんどう思われます。

広沢市長： ただいま、議員ご指摘の通りですね、今はその検証結果を待って我々それをしっかりと総括してですね、そしてまた再度そこでスタート地点に立つ。それを時間を区切らずに着実にやっていくまずこれを念頭に置いております。

一方でですねそれが整った際には、再スタートになりますので速やかにその機運醸成を図っていかねばならないと思いますので、今ご指摘いただいた点も踏まえてですね、早急にやってまいりたいと思います。以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： その機運醸成もアンケートは賛成したいんだよ、みんな賛成って書くんだよ。

賛成じゃなくて木造復元にしてほしいだよ、してほしいという市民の声に変えなきゃ駄目だよ。

木造復元が賛成ですか、賛成に丸を打つんだよ。違う。市民の人に木造を建ててください。

要は昭和のときにいっこく会の人たちが、いろんな手立てでね、傘に名古屋城復元か、それを配ったみたいな、そういう機運が高まる。一つ東京の江戸城がね、江戸城なんてまだ何の話もない中で、NPOの多分人たちだと思うんだけど、歩けば歩いたポイントが江戸城の寄付に集まるっていうのがあるんですよ。それは企業がお金出すんだけどね。

1年で10万円なんだけど、その10万円じゃないんだよね。私が歩いたことによって江戸城が建てれるっていう機運なんだよ。そういうことも考えてとりあえず機運が高まらなきゃ文化庁はイエスって言わないよ。それが一番のバロメーター。

だって市長、燃えた後に国宝の石垣にあれだけのものを建てさせてもらったのは何か、市民の機運だよ。

しっかりとその辺も考えていただきたいと思いますけども、ではちょっと最後にしようかな。継承、河村市長からの継承、河村市長が松原市長から変わったときに河村市長は大きく言うのと三つの事業を取りやめました。

一つは陽子線がん、一つは本丸御殿、一つは導水路これを止めました。

しかしながらこれ三つともみんな動き出しとる。これ不思議な話だけど一旦止めました。

この名古屋城の木造復元、これは成田委員の質問にもしっかりと市長は復元という答えを出してるし、しかしながら前の市長とは違ってエレベーターは最上階まで目指すという広沢市長は判断された。

そこで一つ気になるのは指示書。当時、市民経済局長に宛てた河村たかし市長のこの指示書、その指示書のときは、広沢市長は副市長でしたか、まだ違うかなまだですね。その中には、市長これ読まれたこととかあります。

頭に入ってます。もしあれなら今見せますけど、いいですか。

この指示書の取り扱いどうされるのか。これは指示書となると職務命令だよ。法的だよ。これをどう取り扱うのか、まずは市長の考えを。

広沢市長： その指示書につきましてですねまず項目が4点ございます。そしてその最後に全て責任は私が取るとそういう一文がございます。

まず最初の4項目でございますけれどもこれはですね、もう既に完了もしくは着手に入っておりますので、このいわゆる4点のこのというのはもう達成されて指示書としてはですね役割を終えた状態かと思えます。

問題は最後の全ての責任は私が取るというところでございますけれども、これはですね当然市政これに限らず、全般に対して私は最終的な責任を負っているもうこれは確かでございますので、もうその点に関してはですね、最終的な責任を取るという点はそのまま変わらないのかなというふうには考えております。以上です。

浅井正仁（自民・中川区）： 市長立派だね。前市長は最後の最後の委員会で逃げました。全責任は、材木は違うって言い切りました、この場で。それを聞いた職員は何て思ったかと思うとね、だけど今の市長の話聞いてね、多分、俄然やる気になったと思うし、職員一丸とこの言葉の通り、各委員全力で取り組む、そんな決意になったと思います。そこまで市長

が言ってもらえるならばね、一緒になって木造復元に向けて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。以上です。

委員長 北野よしはる（自民・守山区）： 他にはよろしいでしょうか。  
では他にないようであります。市長に対する質疑はこれで終了をいたします。市長におかれましてはご退席をいただいて結構でございます。ご苦勞様でした。